

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピー神戸三宮教室		2024年 10月 7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		利用者様にとって危険のないスペースを確保し、集団支援時は広い部屋を使うなど工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		個別、集団で人員配置の工夫をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		ビルの4階ではあるが、ベビーカーなど必要に応じて職員が手伝いをしている。事業所の中は段差がなくバリアフリー対応となっている。	お子様用のトイレがほしい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日掃除をしており、教室全体をきれいに保てるようにしている。	・教室によっては窓がないため換気がしにくい。 ・集団の人数が増えるともう少し広いスペースが欲しい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別支援がメインのため環境は整っている。集団支援時に個別の部屋が必要な状況があれば適宜使用できる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝終礼や職員会議などを通してより良くするための改善点や案を話し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に1回従業員と同じタイミングで保護者様向けに事業所評価を実施し、頂いた意見の把握を行い、会議を通してより良い運営ができるよう工夫している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ナビライト(社内ツール)会議、職員会議、ケース会議等で意見交換をし、業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	市の巡回指導で支援を見ていただくことがある。	内部監査を業務改善の機会としている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		様々な研修が用意されており、自己研鑽できる環境が整っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援計画に基づいてプログラム作成されている。	ニーズを踏まえた支援の内容を5領域との関係性を明確にして今後公表する予定。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		しっかりアセスメントの時間をとり保護者の方やお子様に寄り添った内容で作成している。またなるべく多くの職員で意見を出し合い、より良い支援計画が作成できるように努めている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援会議で意見の交換や議論を行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画に沿った支援を行い、情報共有ができています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		毎支援後にケース記録を残し、社内で統一されたツールを用いてアセスメントを行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、具体的な支援内容を設定している。	家族支援、移行支援については今後詳細を計画書にも記載する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		共有しながらプログラムを作成している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		様々な職員が支援に関わることで固定化しないようにしている。またアイデアを出し合って支援を検討している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別がメインではあるが保護者様に確認し、お子様の現状を把握したうえで集団支援も実施している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼時に確認できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼でその日の支援内容を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援の記録だけではなく、保護者様から聞いたことについても記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		中間評価などでモニタリングを行い、必要に応じて見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	支援担当者等、お子様をよく理解している職員が参加するように調整している。	シフト都合や利用者都合などにより、参加が難しいことがある。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		保護者様同意のもと、連携している。	連携しているが、まだあまり多くないため今後医療機関や他事業所との連携にはより力を入れていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者様からの希望があれば園連携を実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学支援引継ぎシートを作成し、就学への円滑な移行を目指して、相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	利用者様から希望があれば療育センターなどとの連携も行っている。	今後も必要に応じて行っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	園訪問・園連携を同意のもとで行っている。	今後希望があれば行っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の振り返りの時間や家族支援の時間を利用して行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	現状少ないが取り組んでいる。	オンラインでの家族支援も積極的に活用いただけるようご案内していく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に必ず行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		アセスメントの聞き取りと園連携をしたときの状況を踏まえて個別支援計画を作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		児発管が説明し、同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		フィードバックは毎支援後に実施し、相談には適宜応じている。保護者様のニーズに合わせて家族支援加算算定での面談も行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	モニタールームなどで保護者様同士が関わる場がある。	モニタールームで保護者様同士が交流することはあるが、事業所から機会を作っていないため、必要に応じて検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		できる限り調整している。	

保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		ブログやお便りなどで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の記載がある書類はカギ付きのキャビネットに保管、PCも各自のロッカーに入れてカギをしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子様によっては会話が難しいことがあるため、保護者の方に本人が望むことを聞き取るなどできる限りで配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	利用待機者の方にイベントに来ていただくことがある。	契約を待っておられる方に体験のご案内はしているが、それ以外の方との交流はないため、必要に応じて検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルは策定し、訓練は年に2回行い、利用者様にも参加を促している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		毎年2回訓練をしている	災害時の職員の役割について各自しっかり把握しておく必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に予めお聞きしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	食事の提供は基本していないが、情報はもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		職員に共有し、安全確保に繋げている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	契約時に説明をしている。	安全計画について理解されていない保護者様もいらっしゃる可能性があるため、より具体的な周知が必要な可能性がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットや事故発生時は職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修を受講し、虐待に対する認識を深めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		できる限り身体拘束に繋がらないよう、保護者様に支援の意図を説明するなど工夫している。		